

口小だより

第 22 号
口津小
之津長
校 長

新年度のスタート

校長の菅 秀康(すが ひでやす)です。本校三年目、いよいよ定年退職を迎えます。体は、あちこち、ガタがきていますが、最後まで職務を全うできるようにがんばります。

四月六日、令和三年度の一学期が始まりました。児童は、それぞれ進級し、新しい学級担任の先生のもと、新しい生活を始めました。

私は、始業式で、本年度、重点的に指導する行動目標について、次のような話をしました。

令和三年度が、いよいよ今日から始まり
ました。本年度の口之津小学校の子どもの
めあてを、心・頭・体の順に言います。

【心のめあて】

- ・ 進んであいさつ・そうじ大好き
- ・ 安全な登下校

中でも、一学期は、「進んであいさつ」。

二月の代表委員会で、そのキャッチフレーズとして、「あいさつ日本一」の学校をめざすことが決まりました。さらには、これからもそれを引き継いでいくことが、お別れ集会で、みなさんから宣言されました。

口之津小学校の子どもの一番よいところは、やさしいところです。

その反面、積極性が課題です。やろうという気持ちはあっても、ついで他の人の動きを見てしまう。自分からやり始めるのを恥ずかしがってしまう。

「進んであいさつ」運動は、その改善に役立つことを卒業生が教えてくれました。

あいさつは、「せーの」でするものではありません。例え、一人であっても、自分の考えで「進んであいさつ」に取り組む、「あいさつ日本一」をめざしてほしいです。

【頭のめあて】

- ・ 聞き方・読み方・書き方

中でも、一学期は、「聞き方」。

話す人の方におへそを向けて、背筋をピンと伸ばして、うなずきながら聞く。

上手に聞くことよって、相手に、やさしさや思いやりが伝わることを、みなさんは、卒業式で示してくれました。

それを見て、多くの先生方が、「こんなに感動した卒業式は初めて。」とおっしゃっていました。新しい学年になっても、まず、このよいところをさらに高めてほしいです。

【体のめあて】

- ・ 生活リズム・何でも食べる
- ・ 外遊び

中でも、一学期は、「外遊び」。

コロナ対策が強化される中、口之津小学校の子どもは、昼休みなど、外でどろんどろん遊ぶ子どもが増えました。

しかも、ボール遊びだけでなく、一輪車や竹馬などにチャレンジする子どもが増えました。

昼休み、委員会活動や係活動、また、補充学習などもあるでしょう。

だけど、せめて十五分ぐらいは、外に出て遊んでほしいです。そのためには、先生方の理解と協力も必要です。

「外遊び百パーセント」。
これを口之津小学校の二つめのキャッチフレーズにしたいです。

新しい一年生

四月八日、入学式を行いました。

新しい一年生二十三名が、緊張した様子で入学してきました。小学校で、この日を一番首を長くして待っていたのは、六年生だと思えます。

本校では、六年生が一年生のパートナーとなり、一年間、いろいろとお世話をしてくれます。本年度は、一年生と六年生の人数もピタリ同じ。まずは、歓迎遠足で関係を深めます。

職員紹介

本年度の本校のスタッフは、県費教職員十九名、市費職員三名、計二十二名です。その他、他校や教育委員会から来校して指導していただく先生が二名います。

[校長]	菅 秀 康 (三年目)
[教頭]	中 村 博 之 (新任)
[一年一組]	松 本 和 子 (新任)
[二年一組]	寺 田 博 子 (四年目)
[三年一組]	山 村 明 日 香 (二年目)
[四年一組]	今 井 美 樹 (二年目)
[五年一組]	田 中 克 彦 (三年目)
[六年一組]	板 田 恵 士 (五年目)
[ひまわり]	宮 木 博 明 (再任用)
[すまいる]	平 山 大 輔 (臨任)
[たんぼぼ]	永 川 俊 文 (二年目)
[たけのこ]	小 藤 貴 子 (三年目)
[教務主任]	近 藤 和 彦 (新任)
[通級指導]	荒 川 久 子 (二年目)
[専科TT]	山 奥 依 子 (再任用)
[専科TT]	平 智 和 (再任用)
[養護教諭]	池 田 千 穂 (二年目)
[栄養職員]	山 本 紗 織 (二年目)
[事務職員]	岩 崎 遼 太 (三年目)
[用務員]	中 村 栄 美 子 (三年目)
[助手]	相 良 寿 己 (三年目)
[助手]	大 村 良 子 (二年目)
[通級指導]	松 尾 裕 美 子 (深江小) (教育委員会)

行事予定

※四月十六日の歓迎遠足は、雨天時も校内で実施します。晴天時と同様にリュックで登校させていただきます。
 ※五月七日、六年生は、南島原市を通る聖火リレーの応援に行く予定です。詳細は、後日お知らせします。

四月十六日 (金)	歓迎集会・遠足
四月二十日 (火)	拡大体育委員会 交通安全教室 (一・二年歩行)
四月二十一日 (水)	交通安全教室 (四年自転車)
四月二十二日 (木)	授業参観・学級部会 (一年・六年)
四月二十三日 (金)	授業参観・学級部会 (二年・五年)
四月二十六日 (月)	授業参観・学級部会 (三年・四年)
五月六日 (木)	避難訓練 (地震) (たんぼぼ・ひまわり・すまいる)
五月七日 (金)	聖火リレー (六年)
五月二三日 (日)	運動会 (午前中)
五月二四日 (月)	振替休日
五月二七日 (木)	全国学力調査
六月十日 (木)	県学力調査 (五年) 社会科見学 (四年)

校長室から

コロナと向き合う
 校長 菅 秀 康

本年度もコロナ対策は続く。おかげさまで、健康観察や換気など、生活のしかたは、ほぼ定着した。本年度の課題は、学校行事をはじめとした教育活動を、いかに見直しをもって実施するかである。本年度は、基本的に全面中止はしない方向で考えたい。何故なら、当然と言えば当然なのであるが、教育活動には、それぞれ児童を成長させる意義があるからだ。例えば、昨年度、ミニではあったが、運動会を全面中止にしていたら、六年生は、あれほど成長した姿で卒業式を迎えられただろうか。縮小化や分散化など、様々なコロナ対策を講じつつも、全面中止はしない。この方向でコロナと向き合いたい。